

令和5年度 第2回 医療介護連携推進委員会 次第

日時：令和6年2月16日（金）

13：30～15：00

会場：碧南市役所 談話室1・2

1 あいさつ

2 議題

(1) 在宅医療等の状況について

健康とくらしの調査結果、介護保険・福祉に関するアンケート調査結果等より

【資料1】

(2) 令和5年度 在宅医療・介護市民講座について 【資料2】

(3) 在宅医療・介護連携推進事業について

令和6年度事業計画について【資料3・別紙】

(4) はなしょうぶネットワーク（電子@連絡帳）の利用登録状況について【資料4】

(5) はなしょうぶネットワーク（電子@連絡帳）を利用することができる施設等の承認について【資料5】

3 その他

・碧南市医療と介護ガイドマップ（令和6年1月作成）

次回：令和6年度 第1回 令和6年6月予定

## 在宅医療等の状況について

健康とくらしの調査結果、碧南市介護保険・福祉に関するアンケート調査結果等より

## 健康とくらしの調査結果

1 調査対象者 65歳以上のもの(要介護認定者を除く)

2 アンケート結果(抜粋)

(1) 人生最期の時期に望む療養場所や医療について

ア ご自身が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいと思いますか(一つに○) (%)

回答者数(件)	病院	ホスピスケア・緩和ケア病棟	老人ホームなどの福祉施設	高齢者向けのケア付き集合住宅	自宅(子どもなど家族宅も含む)	わからない	無回答
686	17.3	5.5	4.5	2.6	35.9	29.2	5.0

イ 上記について、誰かと話し合いをしていますか(一つに○) (%)

回答者数(件)	全くない	話し合ったことがある	話し合い、結果を紙などに記載した	無回答
686	55.7	33.8	1.7	8.7

ウ 自分が意思決定できなくなったときに備えて、一番自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人はだれですか(一つに○) (%)

回答者数(件)	いない	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫
686	2.2	44.3	19.4	17.8	3.9
	近隣の方	友人	医療従事者(医師・看護師)	その他	無回答
	—	0.4	1.2	0.1	10.6

## 介護保険・福祉に関するアンケート調査結果

### 1 調査対象者 要介護認定者

### 2 アンケート結果（抜粋）

#### (1) 在宅医療について

ア あなたは現在、定期的・継続的に医療を受けていますか

回答者数（件）	はい（％）	いいえ（％）	無回答（％）
396	77.8	15.7	6.6

イ あなたには、健康状態や病気のことを相談する身近な「かかりつけの医者、歯科医、薬剤師」がいますか

	回答者数（件）	はい（％）	いいえ（％）	無回答（％）
医師	396	90.2	3.0	6.8
歯科医師	396	51.0	36.1	12.9
薬剤師	396	50.8	37.4	11.9

ウ あなたは、在宅医療を利用して、自宅での生活を継続したいと思いますか

回答者数（件）	はい（％）	いいえ（％）	無回答（％）
396	71.5	20.5	8.1

エ 在宅医療を利用したいと思わない理由は何ですか（複数回答）

回答者数 81件 単位：％

家族に負担（肉体的・精神的）がかかるから	80.2
経済的な理由から	24.7
自宅では、緊急時の対応ができないから	46.9
見てくれる人（家族）がいないから	17.3
部屋やトイレ等の環境が整っていないから	17.3
見てくれる医師がいないから	4.9
訪問看護や介護が受けやすい体制が整っていないから	11.1
その他	2.5
特になし	4.9
無回答	1.2

オ 「人生会議」または「ACP」について、知っていますか（○は一つ）

回答者数(件)	よく知っている (%)	言葉は聞いたことはある (%)	知らない (%)	無回答 (%)
396	4.5	17.7	70.7	7.1

カ あなたは、万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、以下にあてはまるものに○をつけてください（複数回答）

回答数	自分ひとりで考えたことがある (%)	かかりつけ医に相談したことがある (%)	家族と話し合ったことがある (%)	考えていない (%)	無回答 (%)
396	15.7	6.1	31.1	43.7	8.3

キ あなたご自身が病気などで最期を迎えるとしたらどこで迎えたいと思いますか（○は一つ）

回答数	自宅 (%)	病院・ホスピス・緩和ケア病棟・老人ホームなどの福祉施設 (%)	わからない (%)	無回答 (%)
396	45.7	19.2	27.5	7.6

在宅医療の提供と医療・介護連携に関する調査結果より（愛知県医師会）

碧南市

（単位：人）

	在宅死亡数	在宅死亡数のうち看取り	在宅死亡数のうち検視
平成 27 年 7 月から平成 28 年 6 月	60	25	35
平成 28 年 7 月から平成 29 年 6 月	66	38	28
平成 29 年 7 月から平成 30 年 6 月	80	46	34
平成 30 年 7 月から令和元年 6 月	89	55	34
令和元年 7 月から令和 2 年 6 月	88	66	22
令和 2 年 7 月から令和 3 年 6 月	126	124	2
令和 3 年 7 月から令和 4 年 6 月	143	130	13

	死亡者数	
平成 27 年	646	愛知県衛生年報より
平成 28 年	670	
平成 29 年	659	
平成 30 年	729	
令和元年	698	
令和 2 年	682	
令和 3 年	719	
令和 4 年	802	2022 年愛知県の人口動態統計（確定数）の概況より

愛知県

（単位：人）

	在宅死亡数	在宅死亡数のうち看取り	在宅死亡数のうち検視
平成 27 年 7 月から平成 28 年 6 月	4,584	3,751	540
平成 28 年 7 月から平成 29 年 6 月	6,316	5,499	479
平成 29 年 7 月から平成 30 年 6 月	6,756	5,859	676
平成 30 年 7 月から令和元年 6 月	7,151	6,024	548
令和元年 7 月から令和 2 年 6 月	7,237	6,824	370
令和 2 年 7 月から令和 3 年 6 月	8,893	8,821	449
令和 3 年 7 月から令和 4 年 6 月	9,738	9,180	456

	死亡者数	
平成 27 年	64,060	愛知県衛生年報より
平成 28 年	65,227	
平成 29 年	67,177	
平成 30 年	68,833	
令和元年	69,932	
令和 2 年	70,518	
令和 3 年	73,769	
令和 4 年	81,183	2022 年愛知県の人口動態統計（確定数）の概況より

1 開催状況

日時：令和5年12月3日（日） 13時30分から15時30分

場所：碧南市芸術文化ホールシアターサウス

内容：

(1) ミニ講演

演題「自分の大切なことを守るために、道は自分で決める」

講師：医療法人堀尾医院 理事長 堀尾静氏

(2) 寸劇（朗読劇）・説明

「あなたの医療と介護」～内容としくみをわかりやすく～

病気で起こる体や生活の変化により、必要となった医療や介護を、自分自身の「人生」に組み込んで行く様子を、寸劇（朗読劇）で説明

※事例 碧南みどりさん 74歳 夫婦2人暮らし 子どもなし

大腸がんの手術後、要支援1、デイケアの利用。

1年後大腸がんの再発、要介護認定。訪問診療、訪問看護、訪問リハビリの利用。看取り。

※当日次第 別添資料のとおり

参加者：121名

アンケート回答数：81名（回答率66.9%）

2 アンケート結果

(1) 参加状況

	回答数（人）	割合（%）
男性	21	25.9
女性	54	66.7
未記入	6	7.4
計	81	100.0

	回答数（人）	割合（％）
20歳代	2	2.5
30歳代	1	1.2
40歳代	2	2.5
50歳代	6	7.4
60歳代	21	25.9
70歳代	34	42.0
80歳以上	15	18.5
計	81	100.0

(2) ミニ講演について

	回答数（人）	割合（％）
大変参考になった	47	58.0
参考になった	30	37.0
どちらでもない	2	2.5
あまり参考にならなかった	0	—
未記入	2	2.5
計	81	100.0

(3) 寸劇（朗読劇）について

	回答数（人）	割合（％）
大変参考になった	35	43.3
参考になった	27	33.3
どちらでもない	4	4.9
あまり参考にならなかった	0	—
未記入	15	18.5
計	81	100.0



(4) アンケート記載内容から（抜粋、記載原文のまま）

ア 在宅医療・介護についての意見、感想など

・包括医療について碧南市は、うまくネットワークが機能していることを知り安心しました。

- ・在宅医療絶対に必要です。
- ・在宅医療の先生が不足していかないか心配です。

(ACPについて)

・家族に迷惑かけたくないと云うけど、家族だから甘えられる人間も必要ではないか。

・人生の最後にどんな風に過ごしたいかを考えることは、とても大切だとは思っています。

・多様化の現代において、自己決定は個人の尊厳として、とても大切な事だと思います。

・認知症で、自己決定が難しい時は、事前に思いを伝える事がとても大切な事だと改めて感じました。

・療養に関してどの様にすごしていきたいか、施設か在宅医療か医療機関かいろいろな選択があります。

どれも間違いではなく、状況によって元気なうちに自分自身が、希望を伝える事が一番良い事です。ケアマネージャーをしていて一番思う事は、良いとわかっていて本人・ご家族に伝えたりするのですが、その時になってから、まだ考えられないとほとんど最期になってからしか決定しないです。チームケアでACPの大切さを今後もわかりやすく伝えていくことが課題と思います。

・本人と家族の日頃からの意思疎通の大切さが必要であると思うが、そうではない家庭が増えてきているから、どう意見を伝えていくか難しいです。

・「本人の大切さ」を本人の口から聞く事が出来ない場合、どうしたら良いでしょうか？

(介護保険制度について)

・介護保険+α（金額等）が心配です。

・介護の制度の説明があり、そこが大変参考になった。

欲をいえば、その区分によつての費用負担も教えていただければよかった。

・実際、実家の母が在宅介護でお世話になりました。

家での母の世話は、88歳の父がしていました。その時困った事、毎日色々の

人が来て、役割が判りづらい。今日は誰が来て何のために来たのか。それと支払いが月単位であちらこちらから請求書が来て明細が書かれていない。

※各々の人が、毎日の診療明細を書いて家の人に渡して欲しいです。

(施策について)

- ・見守りをもっと市が力をいれるべきは、私も同感です。
- ・これから超高齢に向けて、高齢者同士で助け合うことも必要と思います。例えば、元気なお年寄りのネットワーク作り、情報交換し合い、状態を知ることが大切に思います。シルバーを利用するのも方法だと思います。
- ・今後は、一人暮らしの方の最期をどうしていくのかが問題になると思います
- ・高齢、ひとりになった時が心配です
- ・安全パトロールに独居老人見(身)守(護)り隊、good ideaです。

イ 在宅医療・介護に関して知りたいこと

- ・介護保険と医療保険の違い
- ・パターン1、2、3 色々な例が知ればと思います。一人暮らし？
- ・住み慣れたところで、暮らしていくためには、一人暮らしの人への見守りも重要と思う。碧南市の見守りについて、どのような地域に対する体制となっているのか教えてもらえればと思います。なかなか見えてこないです。
- ・訪問診療をやっている医院、在宅医療、終末医療をやっている医院を知りたいです。
- ・お金の話も少し聞きたかったです。
- ・経済的な不安のお話しがききたいと思います。
- ・家族の心のケアについて教えてください

## 在宅医療・介護市民講座

## 碧南で実現！「あなたの医療と介護」

## ～内容としくみをわかりやすく～

日時：令和5年12月3日（日）

午後1時30分～3時30分

場所：碧南市芸術文化ホールシアターサウス

## 1 ミニ講演

演題「自分の大切なことを守るために、道は自分で決める」

講師：医療法人堀尾医院 理事長 堀尾静氏

## 2 寸劇（朗読劇）・説明

「あなたの医療と介護」～内容としくみをわかりやすく～

## 出演者（出演順）

配役	氏名	所属(職種)
本人	山端二三子	訪問看護ステーション笑福(看護師)
夫	平井優企	訪問看護ステーション仁碧南(看護師)
かかりつけ医	羽佐田美和子	碧南市高齢介護課 地域支援係(保健師)
病院医師	金澤英俊	碧南市民病院(医師)
病院看護師	平岩真理子	碧南市民病院(看護師)
病院薬剤師	片山広美	碧南市民病院(薬剤師)
地域包括職員	中根千勢子	碧南南部地域包括支援センター(主任介護支援専門員)
リハビリ職員	坂田裕介	小林記念病院(理学療法士)
ケアマネジャー	石川智宏	居宅介護支援事業所サンプルトー(介護支援専門員)
訪問看護師	山田和子	碧南市訪問看護ステーション(看護師)

## 3 意見交換



在宅医療・介護連携推進事業

目的：切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築（看取りや認知症への対応を強化）  
 豊南市高齢者ほっとプラザ（第9期高齢者福祉計画（案）・第9期介護保険事業計画（案））

医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を地域で支えていくために切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を推進します。  
 入退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り、認知症の対応力強化、感染症や災害時対応等の様々な場面において医療、介護関係者の連携を推進し、在宅医療・介護を一体的に提供できるように医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護師会、介護サービス事業所と緊密に連携します。

また、「人生会議（ACP（アドバンス ケア プランニング））」の普及を通じて、もしものときのために、望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みを推進します。

	令和6年度	令和5年度
<p><b>事業項目・取組内容</b></p> <p><b>(1) 現状分析・課題抽出・施策立案</b></p> <p>在宅医療・介護連携に関して、必要な情報の収集、整理及び活用、課題の把握、施策の企画及び立案、医療・介護関係者に対する周知を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■地域の社会資源（医療機関、介護事業所の機能等）や在宅医療や介護サービスの利用者の情報把握</li> <li>■将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計（在宅医療など）</li> <li>■情報を整理しリストアップやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用</li> </ul> <p>参考：8つのタスク                  「ア」地域の医療、介護の資源の把握                  「イ」在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討                  「ウ」切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進</p>	<p>1. 「医療と介護ガイドマップ」作成、2,500部印刷配布                  「みんなのあんしん介護保険」作成、2,500部印刷配布                  2. 総合事業周知パンフレット作成、配布                  3. 医療、介護サービス提供状況、在宅医療・介護連携の取組の現状を把握                  4. 連携の新たな課題および対策案の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員の実態把握（4月）</li> <li>居宅介護支援事業所9ヶ所</li> <li>地域包括支援センター3ヶ所</li> <li>・医療介護関係者のネットワーク作り</li> <li>・医療介護関係者の顔の見える関係作り</li> <li>・住民啓発</li> <li>・身元保証人不在時の対応に関するケース対応</li> </ul> <p>5. 近隣の病院の患者相談窓口一覧作成・周知                  6. 近隣の認知症疾患医療センター相談窓口および認知症関連病院（受診・入院対応可能）相談窓口一覧作成・周知                  7. 医療介護連携推進委員会での検討（6月、2月）                  8. 地域包括支援センターでの、課題および対策案の検討</p>	<p>1. 「医療と介護ガイドマップ」作成、2,500部印刷配布                  「みんなのあんしん介護保険」作成、2,500部印刷配布                  2. 総合事業周知パンフレット作成、配布                  3. 医療、介護サービス提供状況、在宅医療・介護連携の取組の現状を把握                  4. 連携の新たな課題および対策案の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員の実態把握（令和5年5月末現在）</li> <li>居宅介護支援事業所9ヶ所：介護支援専門員43名</li> <li>地域包括支援センター3ヶ所：22名</li> <li>・医療介護関係者のネットワーク作り</li> <li>・医療介護関係者の顔の見える関係作り</li> <li>・住民啓発</li> <li>・身元保証人不在時の対応に関するケース対応</li> <li>豊南市身寄りのない方の課題を検討する会</li> </ul> <p>5. 近隣の病院の患者相談窓口一覧作成、周知                  6. 近隣の認知症疾患医療センター相談窓口および認知症関連病院（受診・入院対応可能）相談窓口一覧作成・周知                  7. 医療介護連携推進委員会での検討（6月22日、2月16日）</p>
<p><b>(2) 在宅医療・介護連携に関する相談支援</b></p> <p>地域の医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の必要な援助を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■コーデイネーターの配置等による相談窓口の設置</li> <li>■関係者の連携を支援する相談会の開催</li> </ul> <p>参考：8つのタスク                  「オ」在宅医療・介護関係者に関する相談支援</p>	<p>1. 在宅医療サポートセンター設置（市民病院内に公所として設置）                  ・医療介護連携を支援する相談（電話相談・訪問相談）                  医療介護関係者からの各種相談                  訪問歯科診療（歯科医師会）、栄養相談（保健センター）等の各種相談                  認知症初期集中支援チーム活動                  ・地域包括支援センターとの連携                  打合せ会（年3回）                  ・市内・近隣市の医療介護機関との連携</p>	<p>1. 在宅医療サポートセンター設置（市民病院内に公所として設置）                  ・医療介護連携を支援する相談（電話相談・訪問相談）                  医療介護関係者からの各種相談                  訪問歯科診療（歯科医師会）、栄養相談（保健センター）等の各種相談                  認知症初期集中支援チーム活動                  ・地域包括支援センターとの連携                  打合せ会（年3回）                  ・市内・近隣市の医療介護機関との連携</p>
<p><b>(3) 地域住民への普及啓発</b></p> <p>在宅医療・介護連携に関する地域住民の理解を深めるための普及啓発を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■地域住民等に対する講演会やシンポジウムの開催</li> <li>■周知資料やホームページ等の作成</li> </ul> <p>参考：8つのタスク                  「キ」地域住民への普及啓発</p>	<p>1. 医療介護市民講座の開催(12月3日：121名)                  2. 「私の大切な4つの覚え」の普及、ホームページ掲載                  元気編・治療編・EOL編の3つの段階で普及                  3. 講座等の開催                  ・出前講座                  ・おたつしや大学（9月6日：24名）                  4. エンディングノート（包括連携協定）周知・活用                  ホームページ掲載                  絆ノート書き方講座の開催（8月1日：20名）</p>	<p>1. 医療介護市民講座の開催(12月3日：121名)                  2. 「私の大切な4つの覚え」の普及、ホームページ掲載                  元気編・治療編・EOL編の3つの段階で普及                  3. 講座等の開催                  ・出前講座                  ・おたつしや大学（9月6日：24名）                  4. エンディングノート（包括連携協定）周知・活用                  ホームページ掲載                  絆ノート書き方講座の開催（8月1日：20名）</p>

令和5年度	令和6年度	事業項目・取組内容
<p>■在宅医療サポートセンター設置（市民病院内に公所として設置、看護師1名配置）</p> <p>1. AACPの普及・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民へのAACPの普及（広報、各種講座等）</li> <li>・医療介護関係者へのAACPの普及（AACPガイドライン含む）</li> </ul> <p>AACPの理解を深めるための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種で伝え合う方法の確立のための取り組み</li> <li>・碧南においてAACPを推進する会活動</li> <li>・AACPチーム（市民病院内）活動</li> </ul> <p>2. 医療介護連携の環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療介護関係者への基本的な医療情報の普及</li> <li>・医療介護関係者の基本的情報管理（6月13日：35名）、認知症に関する事（7月13日：33名）、アルコール問題に関する事（1月31日：15名）</li> <li>・医療資源の普及</li> <li>・訪問診療・往診、訪問看護、市内認知症診断/相談窓口一覧作成・配布</li> <li>・地域の医療介護関係者との協働による環境づくり</li> <li>・碧南市看護師会活動</li> </ul> <p>■医療・介護関係者の情報共有の支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「地域包括ケアシステムのための在宅医療介護連携の手引き」の見直し、活用推進</li> <li>2. ICT「電子@連絡帳」活用状況を把握、運用支援</li> <li>3. 「私の大切な4つの覚え」の普及、活用推進</li> </ol> <p>元気編・治療編・EOL編の3つの段階</p> <p>■医療・介護関係者の研修等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多職種合同研修（3月5日）</li> <li>・多職種合同研修（3月5日）</li> <li>・日常療養/退院時/急変時/看取りの4場面別に見た連携の強化</li> <li>・自立支援型カンファレンス（月2回）</li> <li>2. 医療・介護に関する研修</li> <li>・高齢者虐待対応研修（12月8日：63名）</li> <li>・権利擁護に関する研修（3月14日）</li> <li>・認知症啓発イベント（9月24日：75名）</li> <li>・碧南市介護サービス機関連絡協議会の研修</li> <li>・全体研修「介護現場におけるハラスメント」（5月25日：63名）</li> <li>・リーダー研修（10月20日、11月8日：20名）</li> <li>・プレリーダー研修（12月5日：19名）</li> </ol> <p>介護支援専門員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員として知っておきたい高齢者の薬物療法の問題点と対策（8月24日：25名）</li> <li>・ケアプラン作成のポイント（11月1日：23名）</li> <li>・サービス事業所研修</li> <li>・介護職員に求められる心構え・ルール（オンデマンド研修7月1か月：27名）</li> <li>・高齢者の感染症対策（9月15日：37名）</li> </ul> <p>3. 主任介護支援専門員連携会議</p> <p>介護支援専門員への実践向上につながる支援づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（6月20日：15名、10月31日：16名、2月20日）</li> </ul> <p>4. 碧南市リハビリ専門職連絡会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー会議（6回：偶数月）</li> <li>・総会（6月30日）</li> <li>・研修会「碧南における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」</li> <li>・介護保険未申請および外来リハビリ未利用の入院患者の支援</li> <li>・健康測定会への支援（6月30日：73名、11月30日：43名）</li> <li>・地域包括支援センターへの支援（介護予防の一体的実施への協力）</li> </ul>	<p>■在宅医療サポートセンター設置（市民病院内に公所として設置、看護師1名配置）</p> <p>別紙</p> <p>1. AACPの普及・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民へのAACPの普及（広報、各種講座等）</li> <li>・医療介護関係者へのAACPの普及（AACPガイドライン含む）</li> </ul> <p>AACPの理解を深めるための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種で伝え合う方法の確立のための取り組み</li> <li>・碧南においてAACPを推進する会活動</li> <li>・AACPチーム（市民病院内）活動</li> </ul> <p>2. 医療介護連携の環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療介護関係者への基本的な医療情報の普及</li> <li>・医療資源の普及</li> <li>・訪問診療・往診、訪問看護、市内認知症診断/相談窓口一覧作成・配布</li> <li>・地域の医療介護関係者との協働による環境づくり</li> <li>・碧南市看護師会活動</li> </ul> <p>■医療・介護関係者の情報共有の支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「地域包括ケアシステムのための在宅医療介護連携の手引き」の見直し、活用推進</li> <li>2. ICT「電子@連絡帳」活用状況を把握、運用支援</li> <li>3. 「私の大切な4つの覚え」の普及、活用推進</li> </ol> <p>元気編・治療編・EOL編の3つの段階</p> <p>■医療・介護関係者の研修等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多職種合同研修</li> <li>・多職種合同研修</li> <li>・日常療養/退院時/急変時/看取りの4場面別に見た連携の強化</li> <li>・自立支援型カンファレンス（月2回）</li> <li>2. 医療・介護に関する研修</li> <li>・高齢者虐待対応研修</li> <li>・権利擁護に関する研修</li> <li>・認知症啓発イベント（9月頃）</li> <li>・碧南市介護サービス機関連絡協議会の研修</li> <li>・全体研修（5月）</li> </ol> <p>介護人材育成研修（現任リーダー研修、プレリーダー研修）</p> <p>介護支援専門員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員として知っておきたい高齢者の薬物療法の問題点と対策（1月）</li> <li>・サービス事業所研修</li> <li>・介護職員のメンタルヘルス（7月）</li> <li>・ゲートキーパー研修（9月）</li> <li>・高齢者の感染症対策</li> </ul> <p>3. 主任介護支援専門員連携会議</p> <p>介護支援専門員への実践向上につながる支援づくり（6月、10月、2月）</p> <p>4. 碧南市リハビリ専門職連絡会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー会議（6回：偶数月）</li> <li>・総会</li> <li>・研修会</li> <li>・介護保険未申請および外来リハビリ未利用の入院患者の支援</li> <li>・健康測定会への支援（6月、11月）</li> <li>・地域包括支援センターへの支援（介護予防の一体的実施への協力）</li> <li>・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施への協力</li> </ul>	<p>(4) 地域の実情にに応じて行う医療・介護関係者への支援（柔軟な実施が可能）</p> <p>医療・介護関係者間の情報の共有を支援する事業、医療・介護関係者に対して、在宅医療・介護連携に必要な知識の習得及び当該知識の向上のために必要な研修を行う</p> <p>その他地域の実情に応じて医療・介護関係者を支援する</p> <p>■医療・介護関係者の情報共有の支援</p> <p>在宅での看取りや入退院時等に活用できるような情報共有ツールの作成・活用</p> <p>■医療・介護関係者の研修</p> <p>多職種合同研修に関する研修の実施（地域ケア会議含む）</p> <p>医療・介護に関する研修の実施</p> <p>参考：8つのタスク</p> <p>「エ」医療・介護関係者の情報共有の支援</p> <p>「カ」医療・介護関係者の研修</p>

目的： **自律実現可能な地域づくり** 本人が主体的かつ自由に自らの生き方を追求し、実現できる地域づくり

目標：表参照

期間：1年間

事業項目	対象	目標	事業内容
ア 医療介護連携に 関する相談支援	市民 医療介護関係者	「自律実現」に向けた支援が 実施される	「自律実現」を念頭においた相談支援 * 病状・治療認識への支援 * 共有意思決定支援  1. 電話相談・訪問相談 ① 医療介護関係者からの各種相談 ② 各種相談窓口に関する相談  2. 認知症初期集中支援チーム員活動  3. 市民病院内相談支援 ① オレンジ外来等への支援 ② ACP チーム活動
イ 医療介護関係者 への連携支援	医療介護関係者	医療介護関係者の ACP に 関する理解が深まる	「碧南において ACP を推進する会」活動 「ACP チーム (市民病院)」活動  1. ACP 人材育成ステップ研修 ① 通常研修 (初級編・中級編) ② 履修者のフォローアップ研修 ・ 意思決定能力の評価に関するもの ・ ACP 取り組み発表に関するもの ・ 事例検討に関するもの ③ その他の人材育成 ・ 研修企画運営できる人材育成 ・ ロールプレイ等ファシリテーター育成  2. ACP すばらうと発行  1 対象の ACP に関する情報の共有方法の見直し ① 地域→病院 (「本人の生き方」等) ・ 添付文書の検討 (居宅サービス計画 1 表等) ② 病院→地域 (「病状説明内容」や「本人・家族の認識」等) ・ 情報提供の実施状況の確認 ③ 地域関係者間 (①②等) ・ 担当関係者全体へ情報が届く方法の検討 * 碧南市介護サービス機関連絡協議会、碧南市訪問看護 ステーション連絡協議会との協働
		対象の ACP に関する情報を共有するための 体制構築 * ケアマネが知る「本人の生き方」を、 病院へ伝える方法 * 病院における病状説明や、本人・家族の認識を、 病院から地域へ伝える方法 * ケアマネと医療保険にて介入する訪問看護が 情報共有する方法	

<p>市民への ACP や在宅医療・介護の普及啓発</p>	<p>市民</p>	<p>市民の ACP や医療・介護への理解が深まる</p>	<p>ACP や地域の医療・介護の普及への取り組み</p>	<p><b>「ACP チーム（市民病院）」活動</b></p> <p>2.市民病院内 ACP の環境づくり（看護部との協力）</p> <p>①地域との連携方法</p> <p>②病院スタッフが支援後の経緯を把握する方法</p> <p>③はなしょうびネットワーク運用方法</p> <p>1.ランチョンセミナー</p> <p>①訪問看護の制度</p> <p>②その他</p> <p>2.医療資源の情報整理・周知</p> <p>①訪問診療・往診する医療機関の情報</p> <p>②訪問看護の情報</p> <p>③近隣病院の相談窓口</p> <p>3.必要時、研修等への協力</p> <p><b>「碧南市看護師会」活動</b></p> <p>1.地域の看護職がつながる機会づくり</p> <p>2.切れ目なく看護をつなぐ体制づくり</p> <p>3.ACP 実践力の向上</p> <p>4.地域の看護力の向上</p> <p>5.地域への貢献</p> <p>1.訪問看護・かかりつけ医の意見交換の機会づくり</p> <p>①相互に求めていること</p> <p>②連携強化に向けて必要なこと</p> <p>2.碧南市訪問看護ステーション連絡協議会への協力</p> <p>3.必要時、その他の協力</p> <p>1.友の会（健康課）におけるもしバゲーム</p> <p>2.必要時、他の講座等への協力</p>
<p>ウ</p>	<p>市民</p>	<p>市民の ACP や医療・介護への理解が深まる</p>	<p>ACP や地域の医療・介護の普及への取り組み</p>	<p>医療・介護関係者が互いを理解する</p> <p>医療・介護に関して情報を得るための取り組み</p> <p>碧南市看護師会の取り組み</p> <p>訪問看護師とかかりつけ医の連携強化への取り組み</p>

## はなしょうぶネットワーク（電子@連絡帳）利用登録状況

令和6年1月31日現在

## 1 登録事業所数

	市内	市外	合計	割合	機関数	備 考
碧南市医師会	15	-	15	44%	34	
碧南歯科医師会	3	-	3	9%	32	
碧南高浜薬剤師会	17	-	17	47%	36	
介護サービス機関連絡協議会	60	8	68	71%	96	市内：訪看6/7、居宅9/9、訪介9/11
その他	4	3	7	-	-	
合計	99	11	110			

※事業所実件数：複数人登録の場合も1で記載

## 2 登録同意患者数（累計 H29年10月より）

事業所種別	件数
医療機関	5
訪問看護ステーション	799
居宅介護支援事業所	119
地域包括支援センター	9
サービス事業所	4
	936

※令和5年度登録同意患者数：139名

## 3 利用状況

	件数
利用者数	377
患者数（死亡、支援中止者除く）	358
患者投稿数（令和5年度累計）	12,462

\*各施設に登録されている全ての利用者数



## はなしょうぶネットワークを利用することができる施設等の承認について

碧南市医療介護連携ネットワーク「はなしょうぶネットワーク」利用規約第7条 はなしょうぶネットワークを利用することができる施設等は、次に掲げる機関に属する施設のほか碧南市及び委員会で認められた施設等（以下「利用施設」という。）とする。

- (1) 碧南市医師会
- (2) 碧南市民病院
- (3) 碧南歯科医師会
- (4) 碧南高浜薬剤師会
- (5) 碧南市介護サービス機関連絡協議会

法人名	事業所名	住所
(株) 野村	きらら訪問介護ステーション	刈谷市荒井町 1-4-16 シャイン荒井 205

5医務第2489号  
令和6年2月9日

各市町村在宅医療担当部長 殿

愛知県保健医療局長  
(公印省略)

令和5年度厚生労働省委託事業「在宅医療・救急医療連携にかかる  
調査・セミナー事業」におけるオンラインセミナーの実施について(通知)

このことについて、令和6年2月5日付けで厚生労働省医政局地域医療計画課  
から別添のとおり事務連絡がありました。つきましては、本セミナーの積極的な  
受講及び管内の関係機関への周知をお願いいたします。

担 当 健康医務部医務課

医務グループ(横井)

電 話 052-954-6274 (ダイヤル)

F A X 052-954-6918

電子メール imu@pref.aichi.lg.jp

令和6年2月吉日

各位

PwC コンサルティング合同会社  
公共事業部

令和5年度 厚生労働省  
在宅医療・救急医療等の連携にかかるオンラインセミナー  
受講案内

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、弊社では厚生労働省の委託を受けて「在宅医療・救急医療連携にかかる調査・セミナー事業」を実施しており、その一環としてオンラインセミナーを実施することとなりました。

本セミナーは、都道府県・市区町村における在宅医療・救急医療等の連携に係る担当者や地域の関係者を対象として、他地域における取組・課題などを把握していただくとともに、自地域における連携のありかたや今後の方針の検討に役立てていただくことを目的に開催するものです。

都道府県の皆様におかれましては、本セミナーを受講いただくとともに、管内市区町村や地域の関係団体等の関係者の皆様にもご周知いただきますようお願い申し上げます。

謹白

**セミナーの主な対象者**

- ・ 都道府県・市区町村の在宅医療・救急医療等の連携に取り組まれているご担当者
- ・ 地域の在宅医療・救急医療等の連携にかかる関係者（例えば、保健所、消防機関、地域包括支援センター、基幹相談支援センター、医療機関、訪問看護事業所、高齢者施設等のご担当者）
- ・ 関係団体（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、訪問看護ステーション連絡会・協議会・連絡協議会、栄養士会、医療ソーシャルワーカー協会、介護支援専門員協会 等）

**視聴方法・視聴期間**


- ・ 視聴方法：厚生労働省 YouTube チャンネルにてオンデマンド配信
- ・ 視聴期間：令和6年2月5日(月)～2月29日(木) 17時







令和5年度 厚生労働省  
在宅医療・救急医療等の連携にかかるオンラインセミナー

**視聴方法・視聴期間**


- ・ 視聴方法：厚生労働省 YouTube チャンネルにてオンデマンド配信
- ・ 視聴期間：令和6年2月5日(月)～2月29日(木) 17時

**視聴 URL**

YouTube 再生リスト URL・QR コード	<a href="https://www.youtube.com/playlist?list=PLMG33RKISnWhkHPau6iWse-X9Oi3VoAk9">https://www.youtube.com/playlist?list=PLMG33RKISnWhkHPau6iWse-X9Oi3VoAk9</a>	
-----------------------------	---	---

	テーマ	講師	YouTube URL	QR コード
1	急変時における在宅医療の体制整備について	厚生労働省医政局地域医療計画課外来・在宅医療対策室在宅医療専門官 中西理	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=4n0rG3UUDeg">https://www.youtube.com/watch?v=4n0rG3UUDeg</a>	
2	地域の救急体制において消防機関が果たす役割ー在宅医療・救急医療等の連携に向けてー	総務省消防庁救急企画室救急専門官 飯田龍洋	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=53dt3kMba">https://www.youtube.com/watch?v=53dt3kMba</a>	
3	日本の在宅医療・ACPの課題と「在宅医療と救急医療の一つの病院連携」から見えてきた解決法	医療法人社団青燈会小豆畑病院 理事長・院長 小豆畑丈夫	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=paLx4QCx1YM">https://www.youtube.com/watch?v=paLx4QCx1YM</a>	
4	救急医療・在宅医療連携 ACP 実践への課題とうすき石仏ねっとの取組	臼杵市医師会立コスモス病院副院長 舛友一洋	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=4H6xai4uo">https://www.youtube.com/watch?v=4H6xai4uo</a>	
5	八王子市におけるご当地高齢者救急の取り組み～八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会～	医療法人永寿会 陵北病院 院長 田中裕之	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=xnQ8m8iBAzi">https://www.youtube.com/watch?v=xnQ8m8iBAzi</a>	
6	在宅医療・救急医療ワーキングチーム会議設置の経過と取り組みー過年度セミナー参加地域から学ぶ取組状況・成果とこれからの課題ー	北見市保健福祉部主幹 地域包括ケア推進担当 大貫幸代 北見市医療・介護連携支援センター 関建久	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=24N0x145V0">https://www.youtube.com/watch?v=24N0x145V0</a>	

※プログラム全体の視聴時間目安は、2時間10分程度です。

講演資料 URL・QR コード	<a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_37627.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_37627.html</a>	
--------------------	---	---

## セミナープログラム

再生リスト：<https://www.youtube.com/playlist?list=PLMG33RKISnWhkHPau6jWse-X9Ois3VoAk9>

	テーマ	講師	YouTube URL
1	急変時における在宅医療の体制整備について	厚生労働省医政局地域医療計画課外来・在宅医療対策室在宅医療専門官 中西理	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=4n0rC3UUEg">https://www.youtube.com/watch?v=4n0rC3UUEg</a>
2	地域の救急体制において消防機関が果たす役割ー在宅医療・救急医療等の連携に向けてー	総務省消防庁救急企画室救急専門官 飯田龍洋	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=aS3dZkWhAc">https://www.youtube.com/watch?v=aS3dZkWhAc</a>
3	日本の在宅医療・ACP の課題と「在宅医療と救急医療の一つの病院連携」から見えてきた解決法	医療法人社団青燈会小豆畑病院 理事長・院長 小豆畑丈夫	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=pe1xi4GQx1YM">https://www.youtube.com/watch?v=pe1xi4GQx1YM</a>
4	救急医療・在宅医療連携 ACP 実践への課題とうすき石仏ねっとの取組	白杵市医師会立コスモス病院 副院長 舩友一洋	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=iC69ndLak">https://www.youtube.com/watch?v=iC69ndLak</a>
5	八王子市におけるご当地高齢者救急の取り組み～八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会～	医療法人永寿会 陵北病院院長 田中裕之	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=xnG9m8iBAai">https://www.youtube.com/watch?v=xnG9m8iBAai</a>
6	在宅医療・救急医療ワーキングチーム会議設置の経過と取り組みー過年度セミナー参加地域から学ぶ取組状況・成果とこれからの課題ー	北見市保健福祉部主幹 地域包括ケア推進担当 大貫幸代 北見市医療・介護連携支援センター 関建久	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=z9oX0sU25VQ">https://www.youtube.com/watch?v=z9oX0sU25VQ</a>

※プログラム全体の視聴時間目安は、2時間10分程度です。

講演資料は、以下の厚生労働省ホームページに掲載しています。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_37627.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_37627.html)

## 受講者アンケート

セミナーの全てのプログラムの受講後、以下の受講者アンケートのご回答をお願いいたします。受講者数の確認・評価及び次年度以降の事業設計の参考とするため、ご協力いただきますようお願いいたします。(回答締切：令和6年2月29日(木))



<https://forms.gle/8AmvNvSkX1k1rK23A>

【問い合わせ先】

**「在宅医療・救急医療連携にかかる調査・セミナー事業」事務局**

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-2-1 Otemachi One タワー  
PwC コンサルティング合同会社

E-mail : jp\_cons\_zaitakuqq2023@pwc.com

※電話は混み合うため、E-mailでご連絡いただけますと幸いです。

E-mailでご回答を差し上げるか、折り返し、弊社担当者からお電話をさせていただきます。